
いい人

崖空 折流

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】
いい人

【Nコード】
N6923F

【作者名】
崖空 折流

【あらすじ】
いい人って大概パツとしない人が多いんです

「結局来たんだ？」

まだ幼さの残る彼女と顔を合わせるのは五日ぶりだった。不機嫌とも上機嫌ともとれる顔が可愛くてつい「ただいま」と言いながら彼女の頬をつついた。

ただいまじゃなくてお邪魔しますでしょ、と彼女は呆れながら微笑んだ。

「で、修学旅行はどうだったの？」

「期待してたよりはそれなりにね」

「ふーん、じゃあ後で聞かせてね」

ああ、わかった。と呟く 声は不思議と澄んでいた。何から話そうか、まあいい、今夜は時間はいくらでもある。

今、彼女の家には自分と彼女の二人しかない。

邪魔するものなど何もない。

「やっぱり臭う？」

二日間着続けたジャケット袖を鼻に近付けるが自分では分からない。ただ彼女の遠慮がちにひきつった顔を伺うに余程臭いのだろう。「風呂貸してもらっていい？」

あまり世話をかけないように振る舞おうとしたがしょうがない。よく考えてみたら最終日はシャワーすら浴びてなかった。嫌われてもしょうがない資格はある。

しかしそんな自分に彼女は嫌な顔ひとつせず「いいよ」と承諾した。

「けど私が先で良いでしょ？ ほら、浴槽に何か浮いてたら嫌だし

……」

「あーわかった。シャワーしか使わないよ」

申し訳なさそうに答えると「よし、いいこいいこ」となだめられた。みつつも歳が離れているのに不思議と悪い気がしない、心地よいくらいだ。

「じゃあ、おとなしくしててね。」

家探する趣味は無い、素直に大人しくしていよう。彼女の家に似つかわしくない厳つい革のソファに腰を落とす。外見に反して弾力は高くずっとそこにいたいぐらいだった。

疲れているのだろうか？ 飛行機の中で寝た筈なのに瞼が重い。シャワーのザーザーと流れる音しか聞こえい。何かが意に反して微睡みの中から浮かび上がってくる。

忘れたい記憶なの？ 初恋の淡い記憶？ そんなものじゃない？
だったら……なにさ。

頭じゃとつくにわかつているのに思い出す事を無意識に否定している。

もっとロジックに生きられないものだろうかと思った時には瞼は降りていた。

「やっと起きた？」

朦朧とした意識がぼんやりと時計の針が午前二時を過ぎた事を捉えた。

「……俺のために起きてくれたんだ」

「宿題が終わらないだけだよ」

あからさまな嘘だった。まだ明日も休日だし、なにより机の上には勉強した形跡がなかった。その気遣いが嬉しかった。

「でも、そんなに旅行楽しくなかったって言ってたのに疲れて寝ちゃうんだ。」

若干ひがんだ声から彼女が拗ねてるんだと分かるとやっぱり可愛

いなと思った。

彼女には俗世染みた容姿の可愛さとは格段に違う可愛さがある。それは、どんなに言葉を繋いでも表現が出来ないとおしさ、優しさの塊みたいなものだと思う。

だから、その優しさに触れてみたくなった。

「いい人って俺はよく言われるんだ。何でだと思っ？」

「先輩がいい人ってことなんじゃないの？」

—— 答えになってないよ。

「いい人の前には大概“都合の”とか“どうでも”とかつくんだ。つまり利用しやすいってニュアンスだと思っんだ。違っ？」

「突然どうしたの やっぱりまだ前話したあの失恋の事引きずってる？」

「……ゴメン、その通り」なんて聞いたんだろうか、馬鹿な自分。

「けど先輩はいい人です」

「どうでもいい人？」

「いい人です。……私の隣に居ても、いい人」

「ドラマの見すぎだよ」

女の子に泣かされたのはこれで二回目だ。

けど今は泣くよりも彼女の優しさに触れたかった。「ありがとう」
彼女をギュッと抱き締める。

もうしばらくはいい人を続けたいと思った。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6923f/>

いい人

2010年10月22日00時31分発行